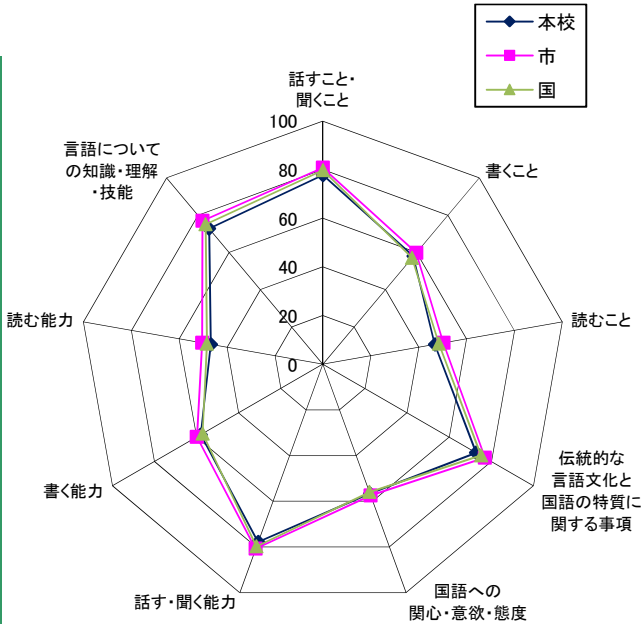


宇都宮市立雀宮中学校第3学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の国, 市と本校の状況

【国語】

| 分類 | 区分 | 本年度 | | |
|-----|----------------------|------|------|------|
| | | 本校 | 市 | 国 |
| 領域等 | 話すこと・聞くこと | 77.8 | 80.8 | 79.8 |
| | 書くこと | 58.0 | 59.8 | 57.1 |
| | 読むこと | 46.8 | 50.4 | 48.5 |
| | 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 | 72.8 | 77.0 | 75.1 |
| 観点 | 国語への関心・意欲・態度 | 56.6 | 57.5 | 56.0 |
| | 話す・聞く能力 | 77.8 | 80.8 | 79.8 |
| | 書く能力 | 58.0 | 59.8 | 57.1 |
| | 読む能力 | 46.8 | 50.4 | 48.5 |
| | 言語についての知識・理解・技能 | 72.8 | 77.0 | 75.1 |



★指導の工夫と改善

| 分類・区分 | 本年度の状況 | 今後の指導の重点 |
|----------------------|--|---|
| 話すこと・聞くこと | 平均正答率は市より3ポイント、県より1.7ポイント、国の平均より2ポイント下回っている。 ○「話合いの話題や方向を捉える」では、県より1.9ポイント、国より2.1ポイント上回っている。 ●「質問の意図を捉える」では、県より2.6ポイント、国2.5ポイント下回っている。「話合いの話題や方向を捉えて、話す内容を考える」が国より5.3ポイント下回っている。 | ○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・話合いの話題や話す内容を的確に捉えて話したり、相手の発言に注意して聞いたりして、自分の考えをまとめる力を身に付けさせる。また、必要に応じて質問しながら相手の意見を聞き、自分の考えとの相違点や共通点を整理できるように指導する。 |
| 書くこと | 平均正答率は県の平均と同等で、国より0.9ポイント上回っている。しかし、市の平均より1.8ポイント下回っている。 ○「書いた文章を互いに読み合い、文章の構成の工夫」は県より3.2ポイント、国より6.1ポイント上回っている。また、「伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書く」では、県より0.8ポイント、国より0.5ポイント上回っている。 ●「書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書く」は県より3.8ポイント、国より3.6ポイント下回っている。 | ・書いた文章を何度も読み返し、論の展開や語句の使い方を考える推敲の時間を増やし、伝えたい内容を明確に表現できるように指導する。その際、文章の構成を工夫して書けるように助言する。 |
| 読むこと | 平均正答率は市より3.6ポイント、国より1.7ポイント下回っている。 ○「文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつ」は県より2ポイント、国より1.3ポイント上回っている。 ●「場面の展開、登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解する。」は、県より4.9ポイント、国より5.2ポイント下回っている。 | ・文章の場面の展開、登場人物の言動や行動に注意して読み取り、内容を理解するように指導する。また、文章に表れている語句からものの見方や考え方を捉えて、自分の考えを深められるように指導する。 |
| 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 | 平均正答率は市より4.2ポイント、国より2.3ポイント下回っている。 ○「事象や行為などを表す多様な語句について理解する」は県より4.8ポイント、国より2.5ポイント上回っている。 ●「相手や場に応じて敬語を適切に使う」は県より8.7ポイント、国より2.1ポイント下回っている。 | ・日々の生活の中で、相手や場に応じた適切な言葉遣いができるように敬語の働きなどを説明し、使えるように指導する。 |